

受講者募集

九州大学大学院工学研究院 附属循環型社会システム工学研究センター
平成23年度公開講座

『循環型社会の構築を目指して』

■開催主旨：

安心して生活できる環境を子孫に引き継ぐためには、資源、生産、生活、環境をつなぐ循環システムの構築が必要です。本講座では、循環型社会構築に関するトピックスや最新の研究成果について、分かりやすく解説します。

■公開講座プログラム： ※詳しくは、別紙講義概要一覧、又はホームページをご覧ください。

→ 平成23年6月4日(土) 14:00~17:00

『レアメタル・レアアース最前線』

渡邊 公一郎 (九大工学研究院 教授)

松本 広重 (九大稲盛フロンティア研究センター 教授)

→ 平成23年6月11日(土) 14:00~17:00

『循環型かつ低炭素型の社会づくりに向けて～近未来の廃棄物処理ビジョン～』

大迫 政浩 ((独)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長)

中山 裕文 (九大工学研究院 准教授)

→ 平成23年6月18日(土) 14:00~17:00

『循環型社会の実現による生物多様性の保全への貢献』

小島 あずさ (一般社団法人JEAN 事務局長)

大嶋 雄治 (九大農学研究院 教授)

→ 開催期日：

平成23年6月4日(土)～6月18日(土) (毎週土曜 全3回) 14:00~17:00 (開場13:30)

→ 場所：

九州大学伊都キャンパスCE40棟 附属循環型社会システム工学研究センター 多目的セミナー室

→ 受講対象者／募集人員：

市民の方々(高校生、大学生を含む)／60名(先着順)

→ 受講料：

無料

→ 申込み方法：

E-mail、FAX、又は郵送。詳しくは別紙「参加申込書」又はホームページをご覧ください。

→ 申込み期間：

平成23年3月15日～平成23年5月25日

→ 問合せ先：

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地CE40棟

九州大学大学院工学研究院 附属循環型社会システム工学研究センター事務室

【TEL】092-802-3560

【FAX】092-802-3561

【E-mail】ries-office@ries.kyushu-u.ac.jp

【ホームページ】<http://www.ries.kyushu-u.ac.jp/> (“九大循環センター”で検索ください。)

■主催：九州大学大学院工学研究院 附属循環型社会システム工学研究センター

後援：福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、糸島市教育委員会

H23年度公開講座『循環型社会の構築を目指して』講義一覧

→ 『レアメタル・レアアース最前線』

日時：平成23年6月4日（土） 14:00～17:00

講義1：「レアメタル・レアアース資源 ー資源地質学の立場からー」

渡邊 公一郎（九大・工学研究院 教授）



レアメタル・レアアース資源はわが国の先端産業を支える重要な資源ですが、供給している国に偏りがあり、わが国の産業に甚大な影響が出るのが懸念されます。資源地質学の立場から、これらの資源の世界での産出の状況やポテンシャルについてお話しします。

講義2：「レアアース・レアメタルの機能と今後の使い方」

松本 広重（九大・稲盛フロンティア研究センター 教授）



ハイテクに欠かせない一連の元素。産業のビタミンとも言われる「レアメタル」に対する資源供給の面での不安が高まっています。貴金属元素やレアアースの持つ機能、そして「使用量を減らす」、「他のもので代替する」取り組みについて紹介します。

→ 『循環型かつ低炭素型の社会づくりに向けて～近未来の廃棄物処理ビジョン～』

日時：平成23年6月11日（土） 14:00～17:00

講義1：「廃棄物系バイオマスの循環利用による低炭素型の地域再生」

大迫 政浩（（独）国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長）



少子高齢化や経済のグローバル化などの社会を取り巻く情勢は変化し、地域の疲弊化が進んでいます。循環型社会を基調とする地域再生を目指して、地域を構成する様々な主体の「つながり」を基盤とした新たな地域環境力の形成、特に廃棄物系バイオマスの資源循環と農林水産業の活性化を両立する新たな産業クラスターや静脈系循環産業の形成を軸としながら、将来構想とそれに向けた戦略について考えます。

講義2：「土石系廃棄物の資源循環に関する現状と将来動向について」

中山 裕文（九大・工学研究院 准教授）



がれき類、スラグ、無機汚泥等の土石系廃棄物は、産業廃棄物発生量の36%を占め、わが国全体の物質フローに対して大きな影響力を持っています。土石系廃棄物の発生と有効利用に関する現状と将来動向について紹介します。

→ 『循環型社会の実現による生物多様性の保全への貢献』

日時：平成23年6月18日（土） 14:00～17:00

講義1：「海洋ごみによる生物への被害について」

小島 あずさ（一般社団法人JEAN 事務局長）



海のごみは、景観を損なう、回収が困難で費用がかさむ、など、人間社会にとっての被害はよく知られています。一方、人の目につきにくい場所で多くの生物に絡まったり誤食などの被害を与えている問題でもあります。生物多様性を阻害する一因でもある海洋ごみの現状と課題について、多角的な説明と問題提起を行います。

講義2：「環境保全産業としての漁業」

大嶋 雄治（九大・農学研究院 教授）



漁業は採る（漁獲）から、育てる漁業（放流・養殖）へ、そして今後は保全する漁業へ進むことが必要となってきました。講義では水産資源の減少、環境変化、汚染による影響、そして環境保全型漁業への取り組みを概説します。

主催：九州大学大学院工学研究院 附属循環型社会システム工学研究センター

後援：福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、糸島市教育委員会